

# 平成 30 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」

## 定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」実行委員会

平成 30 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会を、下記の要領で開催いたしますのでお知らせします。多数のご参加と研究発表をお願いいたします。

なお「砂防学会研究発表会」は、CPD（技術者継続教育）の履修実績として申請することができます。（CPD に関する問合せ先：砂防学会事務局 TEL：03-3222-0747）

### I. 平成 30 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」実施要領

- 期 日 平成 30 年 5 月 16 日(水)～18 日(金)
- 会 場 米子コンベンションセンター「BiG SHIP」  
〒683-0043 鳥取県米子市末広町 294 TEL：0859-35-8111  
意見交換会会場/ANA クラウンプラザホテル米子 2 階大宴会場（飛鳥）  
〒683-0824 鳥取県米子市久米町 53-2 TEL：0859-36-1111
- 日 程 下記日程表のとおり（※予定であり今後変更することがあります）

|             |                  | 8:30 9:00 9:30      |      | 10:00 11:00 |      | 12:00 13:00 |           | 14:00 14:20 15:00 15:40 |  | 17:00 17:40 |  | 18:30 |       | 20:30 |  |
|-------------|------------------|---------------------|------|-------------|------|-------------|-----------|-------------------------|--|-------------|--|-------|-------|-------|--|
| 5 月 16 日(水) | 受付               | 企画セッション             | 特別講演 | 昼休憩         | 定時総会 | コアタイム       | 口頭発表セッション |                         |  |             |  | 移動    | 意見交換会 |       |  |
|             |                  | ポスターセッション・企業展示・行政展示 |      |             |      |             |           |                         |  |             |  |       |       |       |  |
| 5 月 17 日(木) | 受付               | 口頭発表セッション           |      |             | 昼休憩  | コアタイム       | 口頭発表セッション |                         |  |             |  |       |       |       |  |
|             |                  | ポスターセッション・企業展示・行政展示 |      |             |      |             |           |                         |  |             |  |       |       |       |  |
| 5 月 18 日(金) | 現地研修会（2 コースから選択） |                     |      |             |      |             |           |                         |  |             |  |       |       |       |  |

※特別講演、企画セッション、行政展示および企業展示は一般公開となります。

#### 4. 特別講演（一般公開）

演題：「日本最古の鬼伝説とたたら」  
講師：大下 修一 氏（郷土史研究家）

掲載原稿の投稿を行った方も必ず参加申し込みを行って下さい。詳細は「Ⅵ.」をご覧ください。なお、「鳥取大会」では会場に 1 歳以上の未就学児の一時保育室（有料）を設置します。詳細については、「Ⅵ.」の＜一時保育について＞をご確認下さい。宿泊については各自でご手配をお願いします。

#### 5. 企画セッション（一般公開）

企画セッションは、「豪雨に関する最近の気象観測および予測技術」というテーマで意見交換を行います。

WEB 申し込み期間（3 月 13 日(火)～5 月 7 日(月)）

参加費（前納の場合）

#### 6. 現地研修会

- A コース 伯耆大山・米子市方面：流砂系をたどる・大山山系～皆生海岸 1 日コース（定員約 50 名）
- B コース 伯耆大山・倉吉市方面：歴史的砂防施設をたどる天神川 1 日コース（定員約 50 名）

- ・研究発表会参加費
  - ・一般会員（一般非会員）7,000 円(10,000 円)
  - ・学生会員（学生非会員）3,500 円(5,000 円)
- ・意見交換会費 6,000 円
- ・現地研修会費
  - A コース 5,000 円（昼食代 1,000 円を含む）
  - B コース 5,000 円（昼食代 1,000 円を含む）

#### 7. 参加申し込み方法と参加費

研究発表会、現地研修会、意見交換会等の参加申し込みにつきましては、学会ホームページの参加申し込み受付システム（WEB 申し込み）により行います。概要集

注：参加費は全額前納して下さい。なお、入金後に  
取消し等の返金はいたしません。

#### 当日参加申し込み受付の場合

当日の参加申し込みの受付は学会デスクにて研究発表会および意見交換会の参加のみ受け付けます。

#### 当日料金

- ・研究発表会参加費
  - ・一般会員（一般非会員）  
10,000 円(13,000 円)
  - ・学生会員（学生非会員）  
5,000 円(6,500 円)
- ・意見交換会費  
7,000 円

#### 8. 「鳥取大会」実行委員会

委員長 海堀 正博（公社）砂防学会中四国支部長  
（広島大学大学院総合科学研究科教授）  
副委員長 藤村 尚 鳥取大学名誉教授  
委 員 中村 公一 鳥取大学大学院工学研究科准教授

委 員 木原 均 国土交通省中国地方整備局河川部土砂防災対策分析官  
委 員 寺岡 猛 林野庁近畿中国森林管理局計画保全部治山課長  
委 員 的場 善博 鳥取県県土整備部治山砂防課長  
委 員 川口 均 （一社）建設コンサルタンツ協会中国支部理事  
（シンワ技研コンサルタント株式会社取締役社長）  
委 員 大野木昭夫 （一社）鳥取県測量設計業協会会長  
（サンイン技術コンサルタント株式会社取締役社長）  
委 員 山下 祐一 （公社）砂防学会中四国支部副支部長  
（株）テクニコ）  
委 員 杉浦 信男 （公社）砂防学会事務局長

#### 9. お問い合わせ先

平成 30 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」実行委員会事務局

〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4

砂防会館別館 A 棟 3 階

（公社）砂防学会事務局（担当 杉浦，大久保，若原）

TEL：03-3222-0747 FAX：03-3230-6759

## Ⅱ. 平成 30 年度砂防学会研究発表会要領

### 1. 発表セッション

発表方法は、口頭発表とポスター発表です。なお、口頭発表を希望されていても、ポスター発表に変更をお願いする場合があります。口頭発表セッションでは、一般セッションとテーマ別セッションを設けます。また、大会初日 5 月 16 日(水)9：30～10：50 に、一般にも公開して以下に示す課題の企画セッションを設定いたします。

#### 企画セッション（一般公開）

##### 豪雨に関する最近の気象観測および予測技術

コーディネーター：辻本浩史（（一財）日本気象協会）

近年国内では、豪雨による土砂災害が多発しており、激甚な被害をもたらしている。短時間のうちに周囲の状況が大きく変化する豪雨災害では、身の回りに危険が迫る前に避難することの必要性が指摘されているが、その判断を適切に行うためには気象現象などを正しく理解することが求められる。また、土砂災害に対するハード対策を検討する上でも、激甚化・多発化する豪雨の実態を把握することは重要性が高い。本セッションでは、気象専門家より最近の気象学や各種技術について解説し、最新情報を提供することを試みる。例えば、地球温暖化のトレンドと豪雨発生への影響、線状降水帯の発生など近年の豪雨災害の原因となった気象現象の解説、最近の気象観測技術や数値予報技術などの発達などを取り上げる予定である。

#### テーマ別セッション

##### (1) 流域総合土砂管理のあり方

コーディネーター：藤田正治（京都大学防災研究所）

日野川水系では、たたら製鉄の終焉に伴い、大正 12 年頃から海岸侵食の問題が顕在化する一方、水源地域には山体の侵食が激しい大山から大量の土砂が流出しており、土砂災害の発生が懸念されている。また河道への土砂堆積や樹林化により海岸への供給土砂量が減少するなど、流砂系に関する様々な課題を抱えている。この課題を解決する必要があることから、国交省をはじめとする関係機関からなる「日野川水系及び皆生海岸総合土砂管理連絡協議会」は、「日野川流砂系の総合土砂管理計画」を平成 27 年 3 月に策定し、関係機関が連携して土砂動態の改善に取り組んでいるところである。総合土砂管理計画の策定は全国的にも早く、中国地整や日野川河川事務所、関係機関の熱意が伺われるところである。

本セッションでは、全国で行われている同様な事例も含めて、それぞれの地域の取り組みを支援することを目的とした、今後の総合土砂管理のあり方を議論する。

##### (2) 局所豪雨に起因する最近の土砂災害の特徴と課題

コーディネーター：海堀正博（広島大学大学院）

平成 29 年 7 月九州北部豪雨による土砂災害が発生した。災害の誘因は、限られた地域で記録的な大雨が降ったことによるものであった。これにより、表層崩壊の集中発生、規模の大きな崩壊の発生、大量の流木の流出があり、流木による建物被害や水・土砂の移動範囲が変化した事例等が多数確認された。一方で、砂防堰堤による流木捕捉機能が発揮され、下流の被害軽減に寄与した事例も確認されている。同様に、平成 11 年 6 月豪雨による広島市・呉市での土砂災害、平成 22 年 7 月豪雨による広島県庄原市での土砂災害、そして平成 26 年 8 月豪

雨による広島市での土砂災害なども、限られた地域での記録的な大雨が災害原因の1つであった。

本セッションでは、局所豪雨に起因する土砂災害を事例に挙げ、災害の素因および誘因、土砂移動現象、流木の問題、孤立化や災害時要配慮者関連施設の被災といった被害の特徴、ハード対策およびソフト対策の現状から見られる課題と今後の対策を議論する。

### (3) 新たな河床変動・流砂計測手法の比較による特性の把握と改良の検討

コーディネーター：宮田秀介（京都大学防災研究所）

山地溪流の流砂量とそれに伴う河床変動の把握は、流砂系における土砂移動の出発点として非常に重要である。近年は流木による被害の拡大も頻発しており、これを含む解析も重要な課題の1つとなっている。現状では、溪流ごとの流砂量予測は難しく、現地観測が必須である。これまで、様々な流砂（掃流砂）計測手法が提案されており、現在は音響法（ハイドロフォン）が広く利用されつつある。ただし、いずれの手法も測定可能場所や測定可能対象（粒径など）について一長一短があり、測定対象を広げるためにも、新たな計測手法が求められる。また、流木災害の現状を踏まえて、現地調査、水理実験や数値シミュレーションなどによる検討も必要性が増加している。また、新規手法により得られたデータの活用についてもその特性を踏まえて考慮する必要がある。

本セッションでは、山地溪流における流砂量および河床変動計測に関する新たな手法開発や詳細な流砂量・河床変動計測にもとづく現象の解明、その利用について紹介するとともに課題と今後の方向性について議論する。

### (4) 巨大（深層）崩壊の高精度編年研究会の報告一年輪年代法による巨大崩壊の発生年代の推定と歴史史料との対比—

コーディネーター：井上公夫

（砂防フロンティア整備推進機構）

日本各地に地質時代～歴史時代の巨大（深層）崩壊地（移動体体積 $\geq 10^7\text{m}^3$ ）が存在する。崩壊の発生年代を編むことは、崩壊の発生間隔や斜面災害史、地形発達史などを論じる上で重要である。巨大崩壊は豪雨だけでなく、巨大地震によっても発生するので、海溝型巨大地震や内陸活断層直下型地震との関係を議論するための重要な基礎資料となる。地質現象の編年には様々な手法があるが、測定原理や測定誤差のために、通常は数十年以下の精度まで限定することは不可能である。一方、樹木年輪幅の変動パターンを標準試料と比較して樹木の枯死年代を決定する年輪年代法は、1年単位での編年が可能である。本セッションでは高精度編年研究会として、史料災害学、第四紀地形・地質学および年輪年代学の専門家が連携し、巨大崩壊の発生時期を年単位で確定することを目指して行ってきた成果を報告する。

本セッションには本研究会の共同研究者だけでなく、関心のある多くの方々の参加を望みます。

## 2. 発表者の資格

発表者は、発表申し込み時点および研究発表時点において砂防学会の個人の正会員か学生会員に限り（グループでの発表の場合は、発表者が会員であることが必要です）。なお、発表者とは、口頭発表では実際に会場において口頭で発表するもの（1名）を指し、ポスター発表ではコアタイムに実際に説明する者（代表者1名）を指します。原則として、発表者としての件数は口頭発表もしくはポスター発表のどちらか一件とします（発表者以外の共著者の場合はこの限りではありません）。なお、企画セッションならびにテーマ別セッションについては、発表者の重複制限から除外するものとします。

## 3. 発表内容

土石流、山崩れ、表面侵食、地すべり、地震や噴火に起因した土砂流出等の土砂災害およびそれらの防止工事、斜面緑化、森林水文、森林が土砂流出に与える影響、土砂災害減災と生態系保全、砂防の社会的評価に関するもので、原則として学会等に未発表のものに限りします。

## 4. 発表方法

口頭発表は、発表会場に設置されたプロジェクターを用いて、発表者各自のパソコンまたはタブレット、会場に準備したパソコンにより行います。発表者各自のパソコンまたはタブレットを用いて発表する場合は、ミニD-Sub 15ピン オス端子に接続できるようご準備下さい。会場に準備したパソコンを用いる発表者は、USBメモリにファイルを格納して持参して下さい。会場に準備するパソコンのOSはWindows 7、ソフトはPowerPoint 2016を予定しています。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会/シンポジウム」の「平成30年度研究発表会（鳥取）」（<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>）に掲載します。発表前に動作確認を行うようお願いします。

## 5. 発表申し込み（すでに締め切っています）

本大会の一般の発表申し込みは、すべて原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。原稿投稿システムには、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会/シンポジウム」の「平成30年度研究発表会（鳥取）」（<http://www.jsece.or.jp/indexj.html>）からアクセスできます。電子メールやはがきによる申し込みは受け付けませんので、ご注意ください。なお、企画セッションやテーマ別セッションでの発表申し込みについては「7. 研究発表要領に関する問合せ先」まで直接申し込んで下さい。

発表申し込みの締め切りは、平成30年2月23日（金）とさせていただきます。

## 6. 概要集掲載原稿の投稿

概要集掲載原稿の投稿は、原稿投稿システムによるオンラインで受け付けます。下記の原稿作成要領に従って原稿を作成し、PDF形式（2MB以下）に変換して投稿して下さい。

提出期限は、平成30年4月6日（金）24時（厳守）です。提出期限以降は受け付けられませんので、期限厳守をお願いいたします。なお、投稿を行っても参加申し込みにはなりません。参加申し込みは別途行って下さい。

ただし、重複発表のため、原稿投稿システムではなく

問い合わせ先へ直接申し込まれた発表の概要集掲載原稿は、問い合わせ先へメールにて送付して下さい。

## 7. 研究発表要領に関するお問い合わせ先

〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻

中村公一

Tel : 0857-31-5986 Fax : 0857-28-7899

E-mail : nakamura@cv.tottori-u.ac.jp

## Ⅲ. 砂防学会研究発表会概要集掲載原稿作成要領

本大会では概要集の印刷は行いません。提出されたPDFファイルの原稿にページを付した後、砂防学会ウェブサイトに掲載します。以下の諸点に留意の上、鮮明な原稿の提出をお願いします。

### 1. 原稿書体

原稿は原則としてMS-Word等のワープロソフトで作成して下さい。

### 2. 原稿用紙および文字のサイズ

用紙サイズはA4とし、上15mm、下25mm、左20mm、右20mmを確保して下さい。

1行の文字数および1ページの行数は自由とします。ただし、文字のサイズは10ポイント以上とします。

### 3. 原稿枚数

2枚とします。1枚あるいは3枚以上は受け付けません。

### 4. 題名および氏名

題名は第1行目の中央に書き、1行あけて所属、発表者名（連名の場合は発表者の先頭に○印を付ける）を右側に寄せて書いて下さい。題名は本文よりやや大きめに書いて下さい。

1行あけて本文を書き始めて下さい。

### 5. 使用する文字

使用する文字や仮名遣いは、原則として「常用漢字表」「現代仮名遣い」に従って下さい。

### 6. 改行

改行した場合の次の行は、必ず1字あけて書き始めて下さい。

### 7. 文字の割付

句読点、（ ），：，引用記号および1桁アラビア数字には1マスをあて、アルファベットおよび2桁以上のアラビア数字には2字で1マスをあてて下さい。

### 8. 見出し番号

本文の章、節等には次の記号を使用して下さい。

章 1, 2, 3

節 1.1, 1.2, 1.3

節以下 1.1.1, 1.1.2, 1.1.3

### 9. 参考文献

内容に関係のある参考文献を最後にあげて下さい。

### 10. 図表・写真

図表・写真はすべてクリアにし、原則として本文の間の所定の位置に挿入して下さい。左右に余白ができたときは、その部分にも本文を記入して下さい。カラーの図および写真を使用しても構いません。

### 11. 原稿のPDF化と取り扱い

完成した原稿は、PDF化ソフト（例えば、Adobe Acrobat等）を用い、フォントを埋め込んだPDFファイル（2MB以下）を作成して下さい。原稿にはページ番号を入れないで下さい。なお、PDF化された原稿からそのまま概要集を作成しますので、不鮮明なものについては再提出をお願いすることがあります。ご了承下さい。

### 12. 原稿作成要領に関するお問い合わせ先

〒680-8552 鳥取市湖山町南 4-101

鳥取大学大学院工学研究科社会基盤工学専攻

中村公一

Tel : 0857-31-5986 Fax : 0857-28-7899

E-mail : nakamura@cv.tottori-u.ac.jp

## Ⅳ. ポスターセッション展示

ポスター発表1件あたりのポスター掲示範囲の大きさは、幅90cm、高さ180cmを予定しています。詳細は決まり次第、砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会

/シンポジウム」の「平成30年度研究発表会（鳥取）」  
(<http://www.jsce.or.jp/indexj.html>)に掲載します。

## V. 現地研修会

現地研修会は以下の2コースあります。この機会にぜひご参加下さい。

### ●Aコース【参加費 5,000円】

(内訳：バス等交通費=4,000円、昼食=1,000円)

伯耆大山・米子市方面：流砂系をたどる・大山山系～皆生海岸1日コース（定員約50名）

|             |                                                                                                                            |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/18<br>(金) | 9:00 米子コンベンションセンター→大山寺→みるくの里→大山砂防二の沢(環状道路)→鍵掛峠→二の沢砂防堰堤→日光公民館→皆生温泉→弓ヶ浜展望駐車場(富益工区)→15:10(予定)米子駅(米子コンベンションセンター)→15:45(予定)米子空港 |
|-------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### ●Bコース【参加費 5,000円】

(内訳：バス等交通費=4,000円、昼食=1,000円)

伯耆大山・倉吉市方面：歴史的砂防施設をたどる天神川1日コース（定員約50名）

|             |                                                                                                                              |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5/18<br>(金) | 8:00 米子コンベンションセンター→加勢蛇川崩落地→小鴨川第二砂防堰堤→清水谷砂防堰堤(1号・5号)→三朝温泉(プランナールみささ)→砂原砂防堰堤→道の駅 燕趙園→14:40(予定)米子駅(米子コンベンションセンター)→15:15(予定)米子空港 |
|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

### 《注意事項》

1. 各コースとも**出発時刻の15分前の集合**となります（時間厳守をお願いします）。

集合場所は両コースとも米子コンベンションセンター「BiG SHiP」です。

**Aコース（伯耆大山・米子市方面）：**

**出発時間 9時00分**

**Bコース（伯耆大山・倉吉市方面）：**

**出発時間 8時00分**

※コースにより出発時間が異なりますのでご注意ください。

2. 解散場所は両コースとも米子駅と米子空港を予定しております。

3. 両コースとも短時間にお食事をしていただくため、事前予約制にしております。

4. 天候・道路状況・現場状況により到着予定時間が変更になる場合があります。

(解散場所からの帰路列車等の手配については時間に余裕を持って予約をお願いします)

5. 定員状況により申し込みをお断りする場合がありますのであらかじめご了承ください。

6. 申し込み状況により中止する場合がありますのであらかじめご了承ください。

7. 手荷物は米子市文化ホール（米子コンベンションセンター「BiG SHiP」横）にて一時預かりが可能です。

○米子市文化ホール

(〒683-0043 鳥取県米子市末広町 293 番地)

TEL：0859-35-4171（代表）

## Ⅵ. 平成30年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会参加申し込みのご案内

### 1. 参加申し込み

参加・現地研修会・意見交換会等のお申し込みは、砂防学会ホームページから行って下さい(WEB申し込み)。WEB申し込みページの入力フォーマットに従って直接入力して下さい。団体の場合も、WEB申し込みして下さい。見積書、請求書はホームページから出力できるようにいたします。事務処理作業の軽減のため、クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振り込みをご利用下さい（やむを得ない理由がある場合に限り、当日現金での支払い、後払いも受け付けます。この場合、I.7に記した当日料金となります）。

領収書は学会にて入金を確認した後にホームページから出力できるようにいたします。

**受付期間は平成30年3月13日(火)～平成30年5月7日(月)までで、コンビニ決済ならびに銀行振り込みの入金期限は5月11日(金)です。**

### ＜一時保育について＞

1歳以上の未就学児の一時保育（有料）は5月16日(水)と17日(木)に設置し、**利用には事前申し込みが必要**です。一時保育についての詳細は砂防学会ホームページ内「砂防学会研究発表会／シンポジウム」の「平成30年度

研究発表会（鳥取）」（<http://www.jsece.or.jp/imdexj.html>）に掲載します。

参加費・意見交換会費・現地研修会費等は、入金後は返納しませんのでその旨ご了解下さい。

## 2. 参加申し込み締切日

平成 30 年 5 月 7 日(月)

## 3. 参加申し込み後の変更・取り消しについて

申し込み後に変更・取り消しが生じた場合は、学会事務局までご連絡下さい。

## 4. 個人情報の取り扱いについて

お送り頂きました個人情報については、連絡のために利用させていただくほか、申し込み頂いた「平成 30 年度(公社)砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」」の円滑な運営のために必要な範囲内で利用します。

### 【申し込み・入金】

| 申し込みのステップ               | 内 容                                                                                                                                         |
|-------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ①砂防学会ホームページ             | <a href="http://www.jsece.or.jp/indexj.html">http://www.jsece.or.jp/indexj.html</a><br>「平成 30 年度総会並びに研究発表会鳥取大会」のページに、申し込み専用ページへのリンクが掲載されます。 |
| ②お申し込み                  | 入力フォーマットに従って直接入力して下さい。<br><b>※送信後、自動返信で受け付け確認が送信されます。</b>                                                                                   |
| ③見積書・請求書                | 参加費・意見交換会費・現地研修会費の見積書および請求書はホームページから出力できます。                                                                                                 |
| ④参加費・意見交換会費・現地研修会費のお支払い | クレジット決済、コンビニ決済、あるいは銀行振り込みをご利用下さい。銀行振り込みをされる場合は、振込手数料は申込者負担となります。                                                                            |
| ⑤領収書および参加票              | 学会が入金を確認しましたら、ホームページから領収書および参加票（研究発表会、意見交換会、現地研修会）が出力できます。出力頂きました参加票は当日受付にご提示下さい。                                                           |
| ⑥変更・取り消し                | 学会事務局まで連絡して下さい。<br>TEL：03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00<br><b>※入金後の返納不可</b>                                                                |

参加申し込み期間は平成 30 年 3 月 13 日(火)～平成 30 年 5 月 7 日(月)です。

### ◆お問い合わせ先

「平成 30 年度（公社）砂防学会定時総会並びに研究発表会「鳥取大会」事務局

住所 〒102-0093 東京都千代田区平河町 2-7-4 砂防会館別館 A 棟 3 階

公益社団法人 砂防学会 事務局

TEL 03-3222-0747 受付時間：月～金 10：00～17：00

FAX 03-3230-6759

ホームページ <http://www.jsece.or.jp/indexj.html>

E-mail: [sabo274@abox3.so-net.ne.jp](mailto:sabo274@abox3.so-net.ne.jp)

## VII. 案内図



定時総会・研究発表会会場：米子コンベンションセンター「BiG SHiP」

- ・ JR 米子駅から徒歩約 5 分
- ・ 米子鬼太郎空港から JR 米子駅までバスで約 25 分

意見交換会会場：ANA クラウンプラザホテル米子

- ・ 米子コンベンションセンター「BiG SHiP」から徒歩約 10 分